

いわて自動車関連産業集積促進協議会令和4年度事業計画

自動車産業における急激な技術革新など、岩手・東北の自動車関連産業を取り巻く環境が著しく変化する中、「いわて県民計画（2019～2028）」が掲げる「希望郷いわて」の実現に向けて、関連産業の一層の集積と高度化を通じたものづくりのグローバル拠点化を推進するため、本協議会に参画する産学官が連携し、「岩手県自動車関連産業新ビジョン」に基づき、以下の事業について重点的に取り組みます。

なお、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえながら、事業実施について検討していきます。

I 産業集積の体質強化

1 マッチング機会の創出

トヨタグループ向け展示商談会の開催

「とうほく・北海道 自動車関連技術展示商談会」

期日：令和5年2月2日（木）、3日（金）

会場：刈谷市産業振興センター（愛知県刈谷市）

2 協議会会員相互の交流促進

(1) 加入促進等を通じた協議会会員のネットワーク拡大

(2) 会員相互の情報共有、情報発信

- ・ 各種支援制度の紹介
- ・ セミナー・展示商談会等の開催案内等の情報の提供・共有
- ・ 企業データベースの充実による情報発信

II 企業の競争力強化

1 県や支援機関、アドバイザー・コーディネーター等による各種支援（例示）

(1) 取引拡大支援

- ・ 取引案件の掘り起こし、有望企業との適格なマッチング支援等
- ・ 企業連携等への助言・コーディネートによる支援等
- ・ 展示商談会出展企業に対する事前指導、開催後フォローによる支援等

(2) 競争力強化支援

- ・ 支援機関等による技術力・開発力強化支援、新技術・新工法開発支援等
- ・ 設備投資・人材育成に係る支援等

(3) 情報提供・普及啓発

自動車産業に関する社会環境、技術・業界動向等についての勉強会・説明会の開催等

2 産学官・地域連携の推進による研究開発の促進

(1) 産学官連携による更なる技術シーズ、プロジェクトの推進・掘り起こし・新規立ち上げ

県内の大学・公設試等において技術シーズの創生や企業等との共同研究を推進

(2) 東北広域での技術開発の取組【運営：岩手県工業技術センター】

- ・ 中東北3県公設試技術連携推進会議（IMY連携会議）による自動車用部材の超精密加工技術の研究や金属積層造形技術に関連した研究開発を継続して実施
- ・ 北東北3県公設試技術連携推進会議において、省人化等を目的としたロボット活用についての情報交換、共同研究の実施を検討

3 改善活動

工程改善を実践・牽引できる人材の育成を継続し推進

(1) 工程改善個別指導【運営：（公財）いわて産業振興センター】

自動車メーカー出身のコーディネーターによる支援・指導 15社

(2) 異業種相互研鑽活動【協力：トヨタ自動車東日本㈱】

自動車産業以外にカイゼンを広め、県内産業全体の生産性向上を図るもの。

Ⅲ 人材の育成・確保・定着

1 高度技術・研究開発人材の育成【運営：一関工業高等専門学校】

(1) 先端自動車関連技術人材育成事業（継続事業）

電子化・電動化等の最先端の自動車関連技術に対応できる、高度技術人材を養成する講座を実施

(2) 次世代モビリティ社会を担う自動車関連高度技術者育成プログラム（新規事業）

北上川バレーDX推進・高度人材確保促進事業の一環として、次世代モビリティ社会に対応できる製品開発力、生産技術力を習得させる講義、共同研究等を実施し、自動車関連高度技術者を世代ごとに段階的に育成

ア 次世代モビリティハイスクール

県内高校生を対象として、製品開発・生産技術に関する基礎的・導入的な事項について講義を実施する。

イ 次世代モビリティカレッジ

県内大学生・高専生を対象として、製品開発・生産技術に関する応用的・実践的な事項について講義を実施する。

ウ 次世代モビリティラボ

企業との共同研究を通じ、より実践力の高い自動車関連高度技術者を養成する。

2 次代を担うものづくり人材の育成・確保・定着

- ・ 岩手県地域産業高度化支援センターによる人材の育成・確保・定着の取組推進
- ・ 教育機関と各地域のものづくりネットワークの連携によるものづくり企業への興味喚起、地元企業への理解促進
- ・ いわてで働こう推進協議会を核とした、人材の県内就職・県内定着の取組推進や働き方改革の推進支援
- ・ 市町村及び関係団体等との連携による働きやすい環境の構築支援
- ・ 県内企業への「いわて産業人材奨学金返還支援制度」の活用働き掛け